

那覇市立病院から琉球大学血液内科へ

琉球大学医学部第二内科(内分泌代謝・血液・膠原病内科) 玉城 啓太 (24期生)

医学科同窓会員の皆様、初めまして。琉球大学医学部第二内科(内分泌代謝・血液・膠原病内科) 新人医員の玉城啓太と申します。今年度より第二内科血液グループで後期研修医としてお世話になっています。

私は平成22年3月に琉球大学医学部医学科(24期生)を卒業後、那覇市立病院で初期臨床研修を行いました。那覇市立病院では個性的な上級医の指導の元、充実した2年間となりました。また、同期や先輩・後輩にも恵まれ、楽しく初期研修を修了することが出来ました。リーダーの喜納みちる先生お疲れ様でした。後期研修で北の果てまで行ってしまった同期もいますが、また皆で集まれる日を楽しみにしています。医師としての最初の2年間を那覇市立病院で過ごすことが出来て良かったです。

初期研修後の後期研修病院を選択するにあたり、県内外の病院を数ヶ所見学しました。迷いに迷った末、最終的に琉球大学第二内科を選択した理由は次の5点です。①専門性の高い血液疾患が多い、②移植症例を扱っている、③指導医の先生方が熱い、④医局・病棟の雰囲気が良い、⑤病棟スタッフは優しく美人が多い、といった点です。

第二内科では、毎週月曜日午後に教授回診があり、益崎教授のポイントを抑えた分かりやすい回診風景が印象的です。説明に熱がこもるあまり少々回診時間が長めとなってしまう、意識障害となるポリクリ学生さんもチラホラ見かけますが、学生・研修医を立派な医師に育てたいという気持ちの表れなのだと思います。

現在、血液グループは友寄毅昭先生をはじめ、仲地佐和子先生、西由希子先生、森近一穂先生、私の5名で診療にあたっています。今年から人員が増えた

こともあり、血液グループの入院患者さんの数も増加しています。急性骨髄性白血病、成人T細胞性白血病、悪性リンパ腫(HIV関連リンパ腫、バーキットリンパ腫など)、骨髄異形成症候群、多発性骨髄腫、キャスルマン病、自己免疫性溶血性貧血といった多岐に渡る血液疾患を診ることが出来ます。また、東京や福岡で行われる講演会も頻繁にあり、全国レベルの勉強会にもかなりの頻度で参加できます。

僕の他に新垣桂先生、森近一穂先生も今年度から第二内科で後期研修を行っており、若い医員も徐々に増えてきています。内分泌代謝・血液・膠原病内科領域に興味のある初期研修医の皆さん、ぜひ一度第二内科の見学にいらして下さい。一緒に沖縄の血液内科を盛り上げていきましょう。

近況報告というよりは第二内科講座紹介となってしまいましたが、最後にご報告です。今年3月18日に結婚しました!!5月には念願のイタリア旅行にも行き、公私共に充実した日々を送っています。夫婦共々、今後ともよろしくお願ひします。

